

高校演劇 創作脚本賞応募にあたって 原稿作成の注意

言うまでもないことですが、脚本は、誰かに読んでもらうために書くものです（これは、コンクールであっても、また上演のためであっても）。ですから、読む人（役者、スタッフ、創作脚本賞の場合は審査員）のことを考えて、見やすいレイアウトになるように配慮しなくてはなりません。せっかく内容がよくても、整理されていないページのせいで読む気を失わせてしまったのでは元も子もないからです。

そこで、以下には、脚本原稿を作成する際の例を記載しておきますので、応募原稿を作成する前に一読し、応募の際の参考にしてください。

●まずはタイトル。

表紙、もしくは、脚本の冒頭に、タイトルを明記してください。

●本文に入る前に人物表を。

読み手が、登場人物を整理できるように、最初のページには人物表を載せておきましょう。

人物表の例	
長野花子	十七歳 主人公。帰宅部。空想好き。
松本みどり	十七歳 花子の親友。吹奏楽部。しっかりもの。
上田さくら	十八歳 花子のことを好ましく思っていない。テニス部。高飛車。
諏訪姫子	十五歳 桜の子分。テニス部。
飯田千代	八十一歳 花子を導く謎の老婆。
女1	

本文とは区別するため、数段下げるのが普通です。

役の説明、設定などは、必要であれば記入。
なくてもよいでしょう。

●脚本の本文は、ト書きとセリフを分かりやすく配置するようにつく

セリフ部分と区別するため、数段下げる

ト書き、セリフ部分のレイアウトの仕方

明かりがつくと、放課後の教室。花子は、教室の椅子に座って、ぼんやりと窓の外を眺めている。窓の外からは、運動部の掛け声などが聞こえてくる。
そこへ、みどり、慌てた様子で駆け込んでくる。

ト書きでは、セリフ以外の必要な情報を記しておく。

セリフ部分と区別するため一行あける

2行以上にわたるときは、2行目以降を数段下げる

みどり 花子！
花子 ああ、みどり。どうしたの？
みどり どうしたのじゃないでしょ。大変なんだから。
花子 何が？
みどり さくらが、あのテニス部のさくらよ。上田さくら。あのさくらが、花子に文句があるって乗り込んでくるらしいの。
みどり え？ なんで？
花子 知らないよ、そんなこと！

セリフ部分の高さを揃えると、見やすくなります。

右の例のように、ト書きと、セリフを分かりやすく配置すると、読みやすい脚本になります。ちなみに、これらを無視して書くと左のように読みにくい原稿になってしまいます。

悪い例

明かりがつくと、放課後の教室。花子は、教室の椅子に座って、ぼんやりと窓の外を眺めている。窓の外からは、運動部の掛け声などが聞こえてくる。
そこへ、みどり、慌てた様子で駆け込んでくる。
みどり 花子！
花子 ああ、みどり。どうしたの？
みどり どうしたのじゃないでしょ。大変なんだから。
花子 何が？
みどり さくらが、あのテニス部のさくらよ。上田さくら。あのさくらが、花子に文句があるって乗り込んでくるらしいの。
みどり え？ なんで？
花子 知らないよ、そんなこと！

●おわりに

以上に、脚本を見やすくするためのレイアウトの例を示しました。ですが、どうやら脚本には、絶対的に決まった書式というものがあるわけではないようです。脚本家さんによつて、それぞれ流儀があるようです。もしも脚本を「書きたい」と思うのならば、多くの脚本に触れてみる必要があるでしょう。

ですが、冒頭にも書きましたが、大前提は「誰かに読んでもらう」ということです。まずもって、書き手は、読者を自分の世界に引き込むことが必要です。そのためには、読みやすい脚本にすることは必要でしょう。そしてまた、それが脚本であるならば、上演をさねなければ意味がありません。上演をするためには、多くの人に読んでもらうなくてはなりません。演じる役者、それを支えるスタッフの仲間、さらに舞台業者さん、会館スタッフさんの目にも留まるものとなります。ですから、常に自分の作品を「読んでもらう」ことを頭にに入れて脚本を書くようにしましょう。

「高校演劇の名作」と言われる作品が生まれることを期待しています！

平成二十六年6月4日

(文責) 郷原 玲